

1999.

05.

次号特集予告

電気の町が日本橋なら

29.

天六は美容室の街なのだ

アルバム通信

た だ く ま だ よ り

3

# なんなんだ。天六には こんなにいっぱい美容室があるのに。

## 雑誌はおかしいんとちゃうの？

と言いますのも、美容室が天六にいっぱいあるのに、雑誌の美容室特集にはほとんど天六周辺美容室は取り上げられていないのです。

と、いきなり、美容室の話題を出してもなんのことかわからないと思います。そもそものきっかけは、去年の年末に始まります。

98年の年末、ただくまのコオリさんの知り合いの人から美容室の印刷の紹介をいただきました。場所は大阪の南の方にある狭山市。うかがってみると、雰囲気の良い美容室で（MTVらしいテレビ番組を映すテレビモニターもいっぱい置かれていた）、そのうえ、メチャメチャ男前の店長さんでした。そこで、少しだけ美容室について話を聞かせていただいたのですが、その狭山市の駅周辺には20軒以上の美容室があるとのこと。さらに「北区だったら、もっとあるんじゃないですか」とアドバイスをいただいた。

実際、JRの天満駅からただくまの会社まで数えてみると7軒もの美容室があった。もうびっくりしたのなんのって。自分はずも何をしながら歩いていたのかと思いました。

しかし、その狭山市の美容室さんから印刷物の注文をいただくには、今のただくまでは力量不足。また、今まで美容室が7軒もあることに気づかなかった僕は、美容室についての知識が全くないことが判明。なんとか、狭山市の美容室さんの信頼を得るためにも、美容室の勉強をしなければと、思い立った次第です。

そこで、徐々に、美容室特集が載っている雑誌を購入し始めました。主婦の友社『ヘアスタイル・オーダーBOOK』、『週刊女性』の「立体特集19ページ 99ヘアマークコンビニエンスBOOK」、『Hanako』の「関西ヘアサロン特集」、『SAVVY』の「自分でもできる！動きのある毛先ヘア・アレンジ」…。

ああ、やっぱり美容室はきれいなところが多いのだから、と自分の職場というか、自分の机のまわりと比較して見ていました。しかし、しかしです。よくよく見てみると、そのどこにも、天六周辺の美容室が載っていないではないですか。かろうじてカスっているのは、『SAVVY』の広告ペ



◀ 126店あっても、天六周辺の美容室は1店も載っていないのだ  
（『Hanako』99年10月号より）

ージに載っていた「カットプラザ天満」さんのみ。そんなアホな。

僕は、雑誌編集者の方々はどこに目をつけているのかと疑いたくなりました。毎朝ただくまへ出社する道すがら、天五中崎商店街を通っていると、そこにあるハート美容室さんなんか朝早くにもかかわらず、若い美容師さんが店の前の道をきれいに掃いているのではないですか。ADoカットプラザさんも朝一番のお客さんのカットをしているのではないですか。いったい全体、雑誌編集者は何を考えているのか。

そうになったら、知ってもらいしかありません。天六にはこんなにいい美容室があるのだぞ、と雑誌や新聞を作っている方々にわかってもらいしかありません。

そこで（と自分が知らなかったことはさておいて）、次の『アドバム通信④』では「天六周辺・美容室MAP」を載せたいと思っています。電話帳なりで住所を調べていますが、「私はこの美容室がおすすめ」などの情報ありましたら、ただくまの田熊（たくま）までご一報をお願いいたします。（電話 (06) 6375 - 2151）（制作部・田熊孝浩）

次号は「天六美容室MAP特集」  
みなさんご協力ください



# こんな名刺の作り方もあるんですね

右の記事は日経新聞のものですが、そーいや、そーだなと思える話です。

それは、名刺を女性にも持たしてみたら、ということ。僕なんかは、この記事を読んで逆に、持たしていない会社があるのかと思いましたが、そーいやそーいですね。「あの女の子に原稿を渡した」とか「あの女性(ヒト)にことづけたから安心」と思う時にも、「あの女の子」や「あの女性」ではなく、「〇〇さん」や「〇やん」と名前がわかっていたら、もっと、親近感を持って接してもらえるかもしれません。お客さんからの話がしやすくなり、耳寄りな情報が手に入るかもしれません。

ちなみにただいまの女性は、というか、女性に限らず従業員全員が名刺を持っています。だから、誰にでも「名刺をちょうだい」と気軽に声をかけていただいで結構です。しかし、「名刺をありがとう。で、今晚どう?」というのはセクハラなど言うことになるかもしれませんので、ご勘弁を。(もちろん名刺・封筒・挨拶状の印刷はただいまでお願いします) (田)

## 女性名刺

◎：「女性社員に名刺を支給していない会社が、多(おほ)いが、そーそろそろ考え方を改めたいので、」  
◎：「こゝろ語るのには、この語るのには、社員教育の講師を務めるオフィスD.O.(東京)代表・東海林雅之さん。異業種企業で、名刺を渡す場、リタイア研修の場など、名刺を出せなくて困った顔の女性を数多く見てきたからだ。◎：「私、名刺がないんですけど、いただけますか」と回って歩く人。別の女性(は)面用紙で名刺を手作していた。ある会

たかが名刺、されど…

社ではカウンターで接客業務にあたる女性も求められたら、上司の名刺の裏に自分の名前を書いて渡しているという。◎：「もちろん、部署によっては名刺不要のセクションはある。しかし東海林さん。これからは企業を対外的にいかける。アピールするかが大事な時代。一般事務の女性社員にも名刺を持たせれば、当の女性たちの士気も上がるだろうし、いろいろな場面で企業の宣伝にもつながるはずだと効用を説く。たかが名刺、されど名刺ということか。

## ▲『日本経済新聞』99年4月12日(月)夕刊より

# 日本中のいい水を集めたお店

水の情報を発信します

水来おすすめの水

天人の水 100円

名水喫茶コーナー

- 有機コーヒー 100円
- 玄米コーヒー 100円
- たんぽぼコーヒー 100円



営業時間：am10:00~pm7:00

Phone：06-6351-7893

〒530-0041 大阪市北区天神橋4-7-12



## 広告

ちなみにこの広告は4,000円のスペースです。

### ●24時間、宇多田ヒカルを聴きまくる

しまなみ海道ができた日です。今、テレビでは、大林宣彦映画監督と東ちづるさんが映っています。本州の尾道から四国の今治まで、歩いて渡れる道ができました。新しい時代が始まったようです。

そんなテレビを見る僕は、奈良・高の原にいます。そこで、こうしてマックに向かっているわけです。今からしようと思っているのは、「24時間、宇多田ヒカルを聴きまくる」というもの。24時間「20世紀最後の歌姫」の歌を聴き続けるかどうか。人格的に成長するのか、変調をきたすのか。人体実験をしたいと思えます。時間はただ今、午後2時5分前。日付は1999年5月1日土曜日です。

【CDプレイヤーON】  
5月1日(土)午後2時00分

しまなみ海道の特別番組も多太羅(たたら)大橋のところで切った。いよいよスタートです。スイッチオン。

【Automatic】  
今日から明日への24時間、僕と付き合ってくれるのは、宇多田ヒカルのファーストCD「FIRST LOVE」とバナソニックのCDプレイヤー「SI-S320」。CDは新品で奈良のおしくまのニノミヤムセンのCD屋さん「MOVE」で買ったもの。2280円。CDプレイヤーは同じくおしくまの「八千代ムセン」で買ったもの。値段は忘れたけど、8000円くらいだった。

ボン!歌謡曲の雑誌「OHHO(オッホ)2」次号掲載予定の原稿より



(原稿ははまだまだ続きます)

「Movin' on without you」  
あつと言っ間に、2曲目に行ってしまった。こう文字を打ちながら聴くということは不可能なのか。1曲目の「Automatic」なんか、あつ、始まったと思ったら終わっていた。この曲も、もうフェードアウトだ。次は始めから聴きたい。

【In My Room】  
アフリカで流れているような曲だな。というまりだ。この曲と言い、その前の2曲といい、宇多田ヒカルが何を言っているのか、きちんと聞き取れない。この曲はちよつとゆっくり目の曲なので、だいたいわかるのだが、ときどき歌詩の区切り目がわからなくなる。歌詩カードを見ればわかるのだろうか、それはもうちよつと、僕がにCDに慣れた後、見てみたいと思う。おつ、まだ曲が終わっていない。ようやく曲の速度に、この文字を打つ速度が追いついてきたのか。

【First Love】  
毎日放送のテレビドラマ「魔女の条件」の主題歌です。この前、一回そのドラマを見て、初めてこの曲を聴いた。歌詩もわからずに、適当に頭の中でこの曲を回した。きのう、FM大阪のラジオ番組でこの曲の違うバージョンを聴いた。それは軽かった。やっぱり、この曲ぐらいのテンポの方が身につまされるものがある。ちよつとゆっくり聴いてみる。

【甘いワナ】  
ようやく、この曲を聴く前の準備ができた。音は…、今始まった。

## ただくま 広告

このスペースを御社の広告にお使いください。

- ◎この枠一つで版下作成料も含めて2,000円です。しかし、このアドバム通信は不定期刊なうえに、発行部数も現在1,000部。配布地域も、浮田町、黒崎町、浪花町、中崎町の各一部地域のみということをご了承の上、お申込み下さい。
- ◎なお、広告料の代金は、広告掲載号と引き換えの上、お支払い下さい。

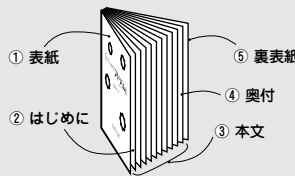
お申込みは、(株)ただくまの田熊(たくま)まで  
電話 (06) 6375-2151  
FAX (06) 6375-2295

## ただくま 広告



60人の仲間にご喜ばれて  
**39,600円**  
(詳しくは資料お送りします)

これが「アドバム」の全体像です  
本になつてる 新こだわり住所録 サイズ: A5



今年はひと味違う住所録を作ろう!

アドバム作りをお手伝い  
**新商品**